

2025年(令和7年)3月20日号【第366号】

BATPOST

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう
(一社)広島県中小企業家同友会 福山支部報

3

2025
March



Contents

- 環境副大臣 小林 史明氏寄稿 P02
- 全研in愛媛 P03
- 地区会だより P04
- 部会だより P09
- 委員会だより P10
- 支部理事会報告 P13

県スローガン

Human First! ~新時代へ挑戦~



よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

(一社)広島県中小企業家同友会 福山支部報

発行責任者 広報委員長 春名 孝一郎

福山支部スローガン

私たちで創ります 私たちの学び舎を
～いまこそ主体的に動こう～

〒720-0066 福山市三之丸町8-16
福山ニューキャッスルホテル B1F
TEL 084-923-0286 FAX 084-923-0284
URL <https://www.hiroshima.doyu.jp>
e-mail fukuyama@hiroshima.doyu.jp

今日の環境問題について 地元中小企業家への期待



寄稿者
環境副大臣 小林 史明氏

平素より格別のご指導、ご鞭撻に、厚く御礼を申し上げます。昨年11月に環境副大臣を拝命いたしました。環境副大臣としてのミッションは日本が強みを持つ環境産業を、国際市場のもとで稼ぐことのできる成長産業にするとともに、人の命と健康を守り、地球の未来を守ることです。地球温暖化が進み日本に限らず世界を襲う災害が激甚化しています。まさに気候変動・環境対策は日本だけでなく、世界で取り組むべきテーマです。

同時に、昨年日本の人口は約86万人減り、2050年には1億400万人になることが推計されています。今後の日本ではいかに人口が減少しても経済社会を成長、発展させていくかが課題になります。

人口が8割になつても成長できるようにするには、今まで10人で担つていた仕事を8人でできるようになります。そのためには、効率化と高付加価値化が鍵になります。

効率化を進めるためには、今まで私も尽力してきた規制改革で徹底して既存のルールを見直し技術の活用を進めること。土地利用の規制緩和により工場等の整備をしやすくするなど、中小企業の設備投資の促進が重要になります。

2050年には1億400万人になることが推計されています。今後日本ではいかに人口が減少しても経済社会を成長、発展させていくかが課題になります。

日本には優れた技術やサービスを持った企業が数多くあります。その企業の生み出す製品やサービスは、価格競争力だけでなく、環境への配慮や省エネ、健康に良いなど、付加価値がさらなる競争力となり、世界の企業から選ばれるようになつてきています。皆さんの製品を海外の新しいお客様に届け、今まで以上に高い価格で販売できるよう、展示会への出店や認証取得など、輸出をサポートします。

インバウンドは2030年には6000万人、消費額は15兆円を超えます。日本での体験をもとに、ECを利用して地域の特産品を海外の人が直接購入する。海外のSNSからヒット商品が生まれる。その様な事例が数多くあります。

まだまだ地方には数多くのチャンスがあります。これからも誰もがフェアにそのチャンスを手にすることが出来る社会になるよう、全力で取り組んで参りますので、変わらぬご支援賜りますようお願い申し上げます。

高付加価値化は、まずは何よりも価格転嫁対策、企業や働く皆さんが適切な対価を得られるよう政府も取り組みます。国も地方への交付金を倍にして、行政から発注している発注金額を、物価上昇と賃上げ分を乗せて発注を行うことで地域の隅々まで利益が回るようになります。そして、輸出やインバウンドで海外に販路を広げることも必要になります。

日本には優れた技術やサービスを持つ企業が数多くあります。その企業の生み出す製品やサービスは、価格競争力だけでなく、環境への配慮や省エネ、健康に良いなど、付加価値がさらなる競争力となり、世界の企業から選ばれるようになつてきています。皆さんの製品を海外の新しいお客様に届け、今まで以上に高い価格で販売できるよう、展示会への出店や認証取得など、輸出をサポートします。

インバウンドは2030年には6000万人、消費額は15兆円を超えます。日本での体験をもとに、ECを利用して地域の特産品を海外の人が直接購入する。海外のSNSからヒット商品が生まれる。その様な事例が数多くあります。

まだまだ地方には数多くのチャンスがあります。これからも誰もがフェアにそのチャンスを手にすることが出来る社会になるよう、全力で取り組んで参りますので、変わらぬご支援賜りますようお願い申し上げます。

第9回環境経営・地球環境交流会 in広島のお知らせ

6月26日(木)・27日(金)は広島の地で「第9回環境経営・地球環境交流会」が開催されます。2日間の開催ですが、2日目は見学会のみの予定なので初日だけの日帰り参加も可能です。

数年ぶりに広島の地で復活を果たす記念的な本全国交流会、人口減少著しい日本において、持続的に発展する鍵となる効率化・高付加価値化のヒントを得られる内容になっていますので、福山支部からもぜひ多くの方にご参加を頂けますようお願いいたします。



福山支部環境経営委員長
兼 第3分科会座長
高橋克直(I)

中小企業問題全国研究集会に参加して

■日時：2月6日（木）、7日（金）
■会場：愛媛県県民文化会館ほか

成績を挙げられていました。今の社会は多種多様な価値観が増している中、そうした価値観を理解しようとすることが重要だと思います。それは社員も一緒にそれぞれの考え方を理解し尊重することで会社の考え方を理解していくべき実践していく、それは企業が成績を上げていくとても重要なプロセスだと思いました。まずは社員に興味を持ち個人面談などでしっかり話を聞いて本当の意味でのパートナーになれるよう頑張るうと思いました。

2日目に印象的だったのは特別講演で『地域と人をつなぎ次世代に心の豊かさを残す』ボテンシャルが潜む地方で読み続ける経営者』という

2月6日、7日愛媛県で中小企業問題全国研究集会が開催されました。1日目は14の分科会に分かれ、2日目は全体で記念企画と特別講演が行われました。



(有)高山工業
高山穩基(S)

の過程の中で指導者は簡単に答えを与えてはならず根気強くて見守ることと言われ普段早く結果を得たい自分はすぐ口にアドバイスとか口をはさんだりしているので、すぐに意見を言わないよう気付けようと思いました。

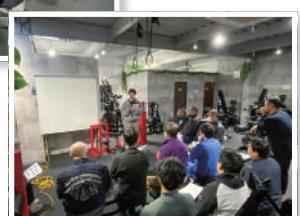
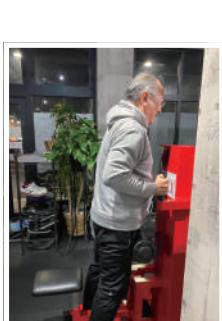
2日間を通じ改めて『人を生かす経営』がこれから時代の経営者に要求される要素のうつだと強く感じました。

11月1日に参加した分科会は『全社員が活躍できる企業をめざす!~ダイバーシティが生み出す宝物~』というテーマで神奈川同友会の有川田製作所の川田俊介氏が報告されました。同社では障害者や高齢者また外国人労働者の方など多彩な才能を持った方々を雇用し、それぞれの才能を上手に引き出され成果をあげられていました。今社会は多種多様な価値

テーマで「株」今治・夢スポートの岡田武史氏(サッカー元日本代表監督)が講演されました。同社は「次世代のため、物の豊かさより、心の豊かさを大切にする社会づくりに貢献す

目指せ、健康経営！
～みんなのジムニーランドで機能改善体験～

- 日時：2月21日（金）
- 報告者：株式会社アーバン・リビング 谷村友飛 氏
- 会場：健康テーマパーク
みんなのジムニーランド
- 参加者数：18名



平和建設(株)
岡田一真(A)

A 地区の2月例会では「自指セミナー」健康経営!～みんなのジム～ランンドで機能改善体験～」をテーマに、㈱キヤリーカンパニー締役 兼 店長 兼 リアル筋力インストラクター 谷村友飛 氏にインストラクターにもなって頂き、会場のジム～ランンドにて機能改善マシンの体験とジム～ランンドの現状報告を行って頂きました。現主義(現場に行き、現実を見る)で意見交換も行い、参加者の皆さんのが肌で感じた意見をお伺いすることができました。

機能改善マシンの体験では、肩やひざ、腰など様々な箇所の痛みや違和感に悩む方が代表して機能改善マシンを用いての実演がありました。谷村氏の説明の基、実際にマシンを使用してみると、肩の上がり方が変わった人や、すっと立ち上がるようになった人々の当たりにして、最初は半信半疑でしたが、私も実際に指導を受けながらマシンを使ってみると確かに使用前と比べて体の動きが

谷村氏の説明も体の構造や動き方など理論的に説明頂き、頭と身体感することが出来ました。

体験後はスライドを用いて谷村氏から事業説明や現在の悩みについての悩みが大きくなりましたが、参加者からは実際に使用したがらう事が一番分かりやすいとの意見が多くあり、入りやすい店構えも必要なのはとアドバイスもありましたか、谷村氏も現在どんなお客様にお店を利用してどうなって欲しいかを明確にすることが大切だという意見でまとまりました。今後もより一層活躍して頂き地域に元気で健康な人が増える事を願っています。

知ることが防災の第一歩 ～家族と会社を守る為の心構え～

■日時：2月17日（月） ■講師：防災士 細谷恵子氏
■会場：県民文化センターふくやま ■参加者数：48名



2025年2月17日、県民文化センターふくやまで、この度は外部講師の防災士 細谷恵子先生をお招きして「知ることが防災の第一歩～家族と会社を守る為の心構え～」という題名で講義をしていただきました。

企業防災という重要な項目で、防災マニュアルや防災グッズの常備など、実はやっているようでもない事に気付かされました。先生から、地区特有でもあるが、福山など山陽地区は災害が滅多になく、平和ボケしていると厳しいご指摘もあり、「もしも」の時の備えは今のうちに使う事、またスタッフを守る為にも早急なマニュアル作成が重要と感じました。後半のクロスボードゲームでは、各チーム内「はい」「いい」の2チームに分かれ、グ

たちまち登録しようや、皆でやれば楽しいぞ ～企業変革支援プログラム～

■日時：2月19日（水） ■報告者：(株)豊田工業所 豊田克浩 氏
■会場：市民参画センター ■参加者数：24名



(株)yoasobi
水戸伸治(D)

地区会だより

B 地区会

ループ討論を行いました。3つの議題で、例えば「台風警報発令。あなたはスタッフを早退させますか？業務を優先させますか？」など、その議題では「いいチームの意見」「いいえ」チームの意見を述べ、それぞれの主張を行いました。案外、自分と反対の意見を考えるのは難しく、反面重要な事も見えてくる事もあり、各々メリット、デメリットがあり、それぞれの職種の特性も考慮した上で活発な意見が出ました。答えはない、といつのが率直な意見ですが、その場で最もベストな答えに近い導くのは「日頃の準備」という事を痛感しました。

D地区の2月例会では、企業変革支援プログラムの活用について(株)豊田工業所 豊田克浩氏にご説明頂きました。今回は企業変革支援プログラムに取り組む方へというエンブリーオン自己診断を元に行つたのですが、内容が進めば進むほど経営理念や経営方針など、会社をまとめる者として通常理解していないといけない部分の理解度の低さを痛感せられました。ただ個人としては、こういった自己診断を年1回でも行えば客観的に自社を見ることができるものと、現状とのギャップを認識することで今後の方針性を明確にできるいい機会となりました。

グループ討論では、正直で話していない部分が多くて恥ずかしい気持ちもありました。同じよううまく取り組めていない方もおられたり、また会社によって悩まれている課題にも違いがあることも印象的でした。またグループ発表では「こういった課題を解決するには仕組みも大事ですが、会社に社長と社員の考え方を浸透できる風土作りが重要だ」という発表がありました。まさにその通りだと感じました。その後の例会に参加したことでも取り組んでいかないといけない課題がはつきりしてきました。今回の例会に参加したことでも取り組んでいかないといけない課題がはつきりしてきました。その後に活かしていくことを思いました。

覚悟から誇り ～良い会社にするために～

■日時：2月18日(火) ■報告者：茂平運送(有) 松枝真二氏
■会場：ローズコム ■参加者数：31名



しかし、あまり良い結果が出ない中で先代との関係悪化・債務超過の現状でも他責にしていた自分を変えられたきっかけになつたのが同友会との出会いでした。初めて聞いた発表に衝撃を受け、自社も同じように社員がいきいきとした会社にしたい、誇れる会社にしたいと思い、いろいろな先輩経営者に話を聞き実践し他責だった自分を変えられる事が



(株)ココジャネ
岸本一彦(E)

面接のコツ ～中途採用Ver～

■日時：2月19日（水） ■講師：池永経営社会保険労務士法人 藤井喜八郎氏
■会場：エフピコアリーナ ■参加者数：32名



(株)BrightFuture
阿吹拓哉(F)

地区会だより

E 地区会

E地区2月例会はローザコムにて茂平運送(有) 松枝真二氏の体験発表を行いました。大学卒業後、正券会社を経

できた。出来ないという事を言わなければ「はい喜んで！」と言い続け、いたら外部環境に影響を受けながらも徐々に業績を回復する事が出来た。倉庫業など的新規事業の立上げや新規の顧客開拓を経て現在は業績も順調に推移しているという報告をしていただきました。

参加者からの質問で採用についての質問がありました。が、基本は社員や顧客からの紹介で採用しているとの事でした。業績が上がればちゃんと社員に還元するなど、社員ホスピタリティや顧客満足度が高いからこそこの現状かと推測する事ができました。今回初めて入社当時の話を聞いた時に普段私が知っている温厚な松枝氏とは違う雰囲気だった事に驚きました。

地区会だより

F 地区会だよ!

F 地区2月例会は、F 地区2グループが担当させていた
だきました。タイトルは、「面接」
の「ツ」～中途採用Ver.～と
題し、B 地区より池永経営社
会保険労務士法人 藤井喜
八郎 氏を講師にお招きしま
した。面接前の準備から面接
中の質問事項や注意事項に至
るまで「面接」という枠組みの
中で幅広いトピックについて
深堀りして頂きました。多く
の参加者から、「凄く学びに
なった」という声を頂きました。
まず、面接とは非常に大き
な買い物である事を認識し
ました。その為、面接前の準備
が非常に重要であり、面接と
はその確認作業であることを
学びました。求める人物像を
明確にし、履歴書の内容を細
かくチェックする事が採用活
動を成功させるための基盤で

あることが強調されました。さらに面接中のテクニックについても多くの学びがありました。特に「答えを待つ」姿勢を大切にすることや、候補者の反応を見る事でその人の本質を理解する、という部分が印象的でした。今後の面接にすぐに活かせる実践的な内容ばかりでした。

また、グループ討論では、「どんな人を採用したいですか?」というテーマで話し合いました。面接前の準備の第一歩となるこのテーマについて話し合う事で参加者が面接に向き合うきっかけになつたと思います。

DXを課題解決の武器に! 成功事例と実践のヒント

～現場発の実践事例から学ぶ、中小企業の可能性～

■日時:2月19日(水)
■会場:ローズコム

■講師:株式会社クリーナー 森山直洋氏
■参加者数:25名



成功事例と実践のヒント



講師:森山直洋氏
企画運営:チーム赤崎



DXを課題解決の武器に!

小林弘樹
社会保険労務士事務所
小林弘樹(G)

森山氏は、業務効率化や働き方改革の推進においてDXが果たす役割について具体的な事例を交えながら講演。例えば、オンライン名刺交換の導入により情報共有の円滑化を図り、また教育現場ではリアルタイムでテストを実施できるクイズシステムを活用することで、DXの実用性を示して取り組む重要性を説いた。

例会では、株式会社クリーナーの代表取締役である森山直洋氏を講師に迎え、中小企業におけるDXの導入事例とその成功的秘訣について学んだ。



Kyykx.s Product
佐藤佑樹(I)

地区会だより

G 地区会

2025年2月のG地区

SNSを活用した求人活動、福利厚生の充実といった、企

業が直面するDX関連の課題

についても具体例を交えて説明された。特に、ペーパーレス化やAI技術を活用した運転管理システムなどの事例には多くの参加者が関心を寄せた。

DXは単なる業務効率化の手段ではなく、企業の競争力を高め、求職者や顧客に選ばれる要素になる。本例会を通じて、DXの導入に向けた新たな視点やヒントを得ることができた。

参考までに、小林弘樹(G)の発言を以下に引用する。

また、クラウド化の進捗やDXを課題解決の武器にすることによって、組織のあり方について、報告していただきました。自身に関して、様々なSNSを活用した求人活動、福利厚生の充実といった、企業が直面するDX関連の課題についても具体例を交えて説明された。特に、ペーパーレス化やAI技術を活用した運転管理システムなどの事例には多くの参加者が関心を寄せた。

DXは単なる業務効率化の手段ではなく、企業の競争力を高め、求職者や顧客に選ばれる要素になる。本例会を通じて、DXの導入に向けた新たな視点やヒントを得ることができた。

参考までに、小林弘樹(G)の発言を以下に引用する。

やる気に満ちた優しいチーム作りの課題と実践報告

■日時:2月17日(月)
■会場:西部市民センター

■報告者:松永花壇 杉田憲吾氏
■参加者数:12名

地区会だより

I 地区会

2月の一地区例会では、松永花壇代表者兼組織委員長、杉田憲吾さんに、組織のあり方について、報告していただきました。

報告後のグループ討論では、「自分自身や社員スタッフのやる気を上げるためにしていることは?」について討論を行いました。自身に関して、様々

杉田さんが、組織委員長として活動していく際、愛読した「だから僕たちは組織を変えたいける/齊藤徹著」をベースに、目指す組織像や時代の変化、企業・組織委員会のお話などを交え、これから目指していく組織、実践していることなどお話しいただき、とても勉強になりました。

その中でも、家業を継いでいく中で、子どもに言われた一言から出てきた、自分の目標していく先「子どもから憧れられる大人親になる」というモノを見つけ、それがベースとなり、今の組織運営を行っていることに、とても共感しました。

時間になりました。今回、組織のあり方について考えていく中で、自分や組織に「志となるモノ」がある事で、その先の有り様が大きく変わることを学ばせていただきました。この学びを自分自身の有り様や事業に昇華していく

トマトで繋がる地域の和 ～絶望を体験した赤木昭弘ストーリー～

■日時：2月17日（月）
■会場：ローズコム

■報告者：鍛冶屋農園 赤木昭弘氏
■参加人数：28名



地区会だより

J 地区会

J 地区の2月例会は赤木昭弘氏による体験発表でした。赤木氏は神石高原町にてトマト栽培を行っています。農閑期は酒蔵で蔵人培への思い、農業を通して地域に何ができるのか、自身の経験を生かして悩みを抱えている人、心に大きな不安を抱えた方の支援ができないかなどの赤木氏の今後の未来像（ビジョン）も織り込まれた内容でした。

赤木氏は農業を始める前は役所で仕事をしておられ、そこで自分自身も気付かない内に心が追い詰められてき役所を辞めて山籠もりをして、大阪へ放浪したり、他人から見ると謎の行動ですが、本人は絶望の淵に立っていました。しかし家族の一言で救われ農業の道へ歩み始めたそうです。

024年の2月に同友会へ入会されます。経営労働委員会にも参加して経営理念の作成に着手します。まだ途中段階ですが着実に思いが形（言葉）になっています。完成が楽しみです。

今回のグループ討論は若く悩みも多く進むべき方向も不安な赤木氏へ先輩経営者からのアドバイスをもらいました。今はトマト作りを極めるべき」や「遊び心（余裕）を持つべき」や「農閑期にも何かやるべき事があるのではないかなどなど。業種は違えど「経営者」の先輩からの厳しいが貴重な意見。参加者全員が赤木氏のこれからを考えヒントになればとの思いで疲れました。

中小企業こそ、AIと友達になろう！

■日時：2月19日（水）
■会場：事務局

■報告者：いろは(株) 松本美樹氏
■参加者数：18名

地区会だより

K 地区会

K 地区2月例会では、松本が「中小企業こそ、AIと友達になろう！」をテーマに発表を行いました。今回の報告では、AIの活用法や最新トレンド、自社での実践事例について詳しく紹介。AIは人間の仕事を奪うものではなく、「人間とAIのコラボレーション」によって業務効率や生産性向上させるツールであると強調しました。

特に、バックオフィス業務の効率化や、文章作成、データ分析といった具体的な事例を通じて、AIの可能性を解説。参加者の皆さんに熱心に耳を傾け、活発な質疑応答が行われました。中でも、「AIのセキュリティ面やコスト面」についての質問が相次ぎ、導入方法や注意点についても具体的にお答えしました。



いろは(株)
松本美樹(K)

その後のグループ討論では、御社ではAIをどう活用するかをテーマに意見交換が行われ、参加者からは「チャットGPTを使った業務効率化のアイデア」や、「AIによるマーケティングの可能性」といった積極的な意見がありました。

例会後の懇親会は、「大衆焼肉 しんすけ」にて行われ、AIの話題を中心に関連が深まりました。参加者同士の交流も活発で、情報共有や今後の連携についての話も弾みました。

第一回P地区MG (マネジメントゲーム)研修

■日時:2月8日(土)~9日(日) ■講師:(株)IMPACT 田中隆司氏
■会場:ペアコム ■参加者数:12名



「同友会でマネジメントゲーム(以下MG)がしたい!」の想いから企画を初めて、通常の例会とは違い、土日の二日間を使って念願の同友会MG研修の開催をすることができました。西研究所公認インストラクター(株)IMPACTの田中隆司氏を講師としてお招きし、笑いあり、学びあり、気づきありの講義からスタート。何の為にMGをするのか?「気軽に楽しく、経営と会計が身につく事」そして「普段の無意識な習慣により薄れてしまっている『気づきのアンテナ』を張りめぐらし、自己の人間力向上のため」であること。MGのグランドルールとして「教えない(失敗から学ぶ気つきの機会を奪わない)教え合い(ルールや自身の変化を共有紙は自分で(他責ではなく全て自責は、同友会活動をする中でも共通する所が多くあり、参加者は講義を聞きながら共感、理解のうなづきの多い学びの時間でした。さて、ゲームに入るものの「安売りの殴り合い」「けん制し合つて両社泥沼」「倉庫火災で材料全焼」など、2期は殺伐とした空気の中ゲームが行われました。当然結果

地区会だより

P 地区会

さなだ地所は3年後に信頼度、知名度、実力で府中市でNo.1の不動産会社になる!

■日時:2月19日(水)
■会場:ジーベックホール
■報告者:(株)さなだ地所 近藤寛治氏
■参加者数:27名



地区会だより

S 地区会

2月19日(水)ジーベックホールにて、S地区2月例会が催され、小森グループ(株)さなだ地所代表取締役近藤寛治氏が報告を行った。近藤氏は、義父が一人で切り盛りしてきた不動産会社を継承するため、新卒以来、勤められた医療関係の会社を退職し、5年前に不動産業界へ足を踏み入れた。50歳を過ぎての転職は、予想以上に困難を極め、自らの信条と義父からの指導との間で、悩み続ける毎日だった。

その一方、定年後、同社へ入る予定だった妻が、早々に退職し、加担してくれた事で、大業務を分担し、昨今、大きく取り上げられる空き家問題に、社会の強みを生かしているかの大命題を掲げ日々奮闘している。グループ討論では、参加各社の強みを生かしていくテーマで活発な討論が繰り広げられた。

豊田産業(株)
豊田裕子(S)

底辺からの現在！～やればできる～

青年部だより



■日時：2月3日（月）
■会場：県民文化センターふくやま

■報告者：ヒューマンリンクFP事務所 細川幸宏 氏
■参加者数：41名



青年部の2月例会は、「底辺からの現在！」～やればできる～をテーマに開催されました。今回は、ヒューマンリンクFP事務所の細川幸宏氏を報告者に迎え、ご自身の経験をもとにした貴重なお話を伺いました。細川氏は自身の人生を振り返り、どん底から這い上がる過程で得た教訓や気づきを熱く語ってくださいました。どん底にあっても、挑戦し続けることの大切さを伝えていたとき、参加者は真剣に耳を傾けました。

報告後の質疑応答では、参加者から多くの質問が寄せられ、細川氏の経験や考え方についてさらに深掘りすることができました。その後、グループ討論では、「脱皮したきっかけ」をテーマに意見交換を実行しました。各グループでは、自身が成長するターニングポイントと変化のきっかけについて話し合い、それぞれの経験を共有しました。



いろは(株)
松本美樹(K)

あるグループでは、「環境を変える勇気が大きな転機になつた」「周囲の人との関わりが成長のカギになつた」といった意見が飛び交い、学びの多い討論となりました。最後には、各グループからの発表が行われ、全員で気づきを深めることができました。

今回の例会を通して、参加者一人ひとりが「為せば成る

う考へ行動し成す」という年間テーマを改めて実感する

ことができました。

例会後の懇親会は「大衆焼肉

しんすけ」にて開催され、リラックスした雰囲気の中でさら

に交流を深めることができました。

次回の3月例会も、皆さん

のご参加をお待ちしております！

女性部2月例会in愛媛全研

女性部だより



■日時：2月6日（木）～7日（金）
■会場：愛媛県県民文化会館ほか

■参加者数：1名



ホリスティックプレイン学院(株)
藤原留衣(B)

2月例会では全研に参加し、他県の方々との交流や分科会での学びの機会を得ました。私は「人を生かす経営の実践（多様性への対応）」というテーマの分科会に参加しました。このテーマでは、外国人雇用における社内対応や、経営方針の社員への意識づけについての実践的な取り組みが紹介されました。特に印象に残ったのは、外国人労働者を採用する際に直面する文化や言語の違い、そしてそれをどのように乗り越えてきたかというお話です。経営陣が率先して多様性の重要性を認識し、その価値を社員に浸透させるために行ったさまざまな努力について、具体的な事例を交えて紹介されました。

特に、定期的な研修やチームビルディング活動を通じて、社員同士の理解を深め、国際的な視野を広げることができたという話が心に残りました。

また、経営方針を社員に意識化させる方法についても学びました。経営理念を日々の業務にどう結びつけるか、社員一人ひとりがその重要性を感じながら働ける環境づくりの重要性が強調されました。このような取り組みは、社員のモチベーションを高め、企業全体の成長にも繋がるという点がとても印象的でした。今回の経験を通じて、多様性を活かした経営は、単に企業の社会的責任を果たすだけではなく、企业文化や組織の成長にも大きく寄与することを再認識しました。今後、私自身もこのような視点を持ちながら、職場での人材活用やチームワークの向上に努めていきたく、と考えています。この貴重な学びの機会を得ることができ、心から感謝しています。

組織
委員会

新会員オリエンテーション

入会しました

2月7日（金）にローズコムで、新会員オリエンテーションを開催しました。先輩会員の体験報告は、
（株）川瀬工具店 代表取締役 油藤智子氏（S地区）が務め、同友会での学びや会社の変化を報告しました。
BATPOST3月号では当日参加した新会員の内、原稿を寄稿いただいた4名の方々をご紹介します。



まるまるデザイン

代表 藤原寿子（A地区）

はじめまして。福山市駅家町で活動する「まるまるデザイン」と申します。HPやLINE公式、チラシなどを通じてクライアントの売り上げ向上をお手伝いしています。

同友会では、先ゆく先輩の経験談を学びながら成長したいです。
どうぞよろしくお願いします。



(同)エトスアップ

代表社員 蝶川万貴子（B地区）

福山暁の星女子高等学校を卒業以来、32年ぶりに福山に戻りました。「コミュニケーションで企業や人を豊かにする」をミッションに、採用支援・広報支援・コミュニケーション研修などの事業を展開しております。皆さまから学ばせていただきながら、お役に立てるよう努めてまいります。よろしくお願ひいたします。



Kyykx.s Product (キークスプロダクト)

代表 佐藤佑樹（I地区）

I地区に入会したキークスプロダクト代表、義肢装具士の佐藤です。主にご自宅やイベントなどにお伺いし、独自開発のインソールを提供しております。
ご縁は、遊湯ランニングクラブ主催、粟村さんに誘われたことです。



竹中工業株

取締役 竹中 誠（S地区）

2025年2月に入会しました、竹中工業株式会社の竹中誠です。
昨年11月に異業種から転職し、営業担当として経営に携わることになりました。同友会の皆様と積極的に交流し、ご指導頂く中で、経営者として成長できればと思っております。宜しくお願い致します。

経営労働委員会

経営基礎講座 第4講経営方針編

第3回「経営方針の立て方を学ぼう」 クロスSWOTを活用した経営方針の立て方・実践

■日時：2月28日（金）

■会場：事務局・Zoom・サテライト

■報告者：バンズグリル 小川尚範氏

■参加者数：34名



今回の経営基礎講座は経営方針編「経営方針の立て方を学ぼう」としてオンラインでの解説はなく、討論から始まりました。今まで学んできた方針を発表し合い、意見をもらいました。

経営方針は、経営理念を具体的に実現する為のもので経営の方針性を定める為の重要な要素です。まず、一人ずつ出来ているところまで発表しました。発表の中で地域に必要とされる企業になる、困りごとが発生した時自分の顔を思い浮かべてもらえるようにしたい。

Aににより仕事が減っていくのではなく理解し活用することで業務改善していく必要があります等の発表がありました。

課題として販路開拓や自社の認知度の低さそして社員が働きやすい環境をつくる、自社で働くことが誇りに思ってもられるようなホワイト企業を目指す必要性を感じました。起業するのは簡単だが、起業するには講義や教育を受けてから起業すればよい会社が増えた。確かに私が何の知識もなくスタートしました。しかし同友会で人を生かす経営や労務管理、指針の大切さを知りました。まだ指針は完成しませんがほんやりと見えてきたように思います。引き続き経営委員会に参加して色々な意見交換して完成させたいです。



鈑金工房カーリペア(株)
羽原由晃(D)

政策委員会

福山学①

世界バラ会議

■日時：2月4日（火）

■会場：事務局

■講師：福山市市長公室 世界バラ会議推進室 室長 大本貴淑氏

■報告者：(特非)どりいむスイッチ 中村友紀氏 (J地区)

■参加者数：17名



2月政策委員会では5月18日から福山市で開催される世界バラ会議について勉強しました。世界バラ会議とは3年に一度開催されるバラの国際会議です。今回は第20回で世界40か国から400人以上の専門家が福山市を訪れてバラに関する講義や殿堂入りバラの選定、そして市民の育てたばらや景勝地など福山市の各エリアツアーアーをする予定になっています。この一連の国際会議イベントはM-C-E-IIマイスと総称されており観光事業の柱の一つとして注目を集めています。

福山市として初めて受け入れる本格的な国際会議を契機に、ソフト・ハード両面でマイスを受け入れ環境を整備して今後更なるマイス誘致につなげ、ひいては国内外に福山市の魅力をアピールして福山市民であることの誇りシビックプライドを醸成したいと考えています。



(株)イック
内海陽平(D)

また、今回併せて勉強したローズマインドプロジェクトでも思いやり、みんなで助け合う心で対話交流を広げて福山を良くしようと言わせてました。福山市民が誇りを持てる街になつていけば国内外から福山市に住みたい、福山市に戻りたい、働きたい人が増え各社が抱える人材不足に関する多くの問題の解消にも繋がります。

最後になりましたが、福山市市長公室世界バラ会議推進室 大本貴淑室長氏、NPO法人どりいむスイッチ 中村友紀氏、限られた時間の中で大変学びの深い勉強会をありがとうございました。市民全体で5月17日から24日のび世界バラ会議関連イベントを盛り上げて行きましょう！

バリアフリー 委員会

児童養護施設と 中小企業家同友会のこころの交流

■日時：2月12日（水）
■会場：事務局・Zoom

■報告者:日祥化工(株) 前川 順氏(京都)
■参加者数:28名



(株)タカハシ
高橋克直(1)

勉強会の内容としては、児童養護施設の存在意義や社会背景を学び、その対策となる取り組み事例の報告でした。みなさんは両親と一緒に生活する事が出来ない子どもが何人いるかご存じですか？なんと全国に4万2千人もいるそうです。親の死亡や病気、虐待など。最近は親が服役しているからという事情の子どもも増えているそうです。そういう子どもたちの多くは「両親と生活することは命がけ」だそうで「愛着障害」という心の病を発症している子も多いようです。具体的な症状としては、他者との距離感がつかめず、「近すぎる」「遠すぎる」就職はできても職場の定着がなかなかうまくいかないのだそうです。

バリアフリー委員会の2月勉強会は「児童養護施設と中小企業家同友会のこころの交流」というテーマで、京都同友会さんから日祥化工㈱ 代表取締役 前川 順氏（貸衣裳屋さん）をお招きして体験発表を行いました。

私自身、何年か前にタイ人の女性をホームステイで1週間受け入れた事があり、その経験から里親も出来そつだと思って色々調べた所、里親になるのはなかなか高いハードルがあつて今まで敬遠していましたが、時期を見て再度チャレンジしてみようと思いました。勉強会の構築に携わった皆様、大変お疲れさまでした。

そこで京都同友会さんはまず関係性から構築するという手法を採用し、児童養護施設を訪問して1人1人の子ども達を1人の人間として認めていきました。すると施設の子ども達の方から「同友会いつくんねん? (京都弁)」と才ファーゲももらえるほどになつたそ�で、その月イチ訪問の取り組みは現在も続いているそうです。

条例 プロジェクト

福山市経済環境局経済部と 広島県中小企業家同友会福山支部幹部との懇談会

■日時:2月18日(火) ■参加者数:18名
■会場:事務局・又来軒



次に、同友会からは先日行われた政策アンケートのまとめを塩山政策委員長が報告され、福山支那の皆さんからの声を届けました。この



(有)大下木型製作所
大下真司(B)

この懇談会が未来ある福山市への官民一体となつての動きの歩みになればよいとの条例制定に向けての二歩になればよいと感じています。参加された皆様ありがとうございました。

つ、多くの問題がありすぎるのに一旦しっかりと整理してひとつひとつクリアにしていくことが大事だといふ意見でまとまりました。

私のグループは、外国人雇用がテーマで福山市としては福山で日本語を勉強して地元の企業で働いてもらいたいが、都会で就職してしまった問題や企業の受け入れの問題など多々問題がありました。各

アンケートのどの部分が今後の市の施策に活用され生かされているのか知りたい旨もお伝えしました。

まず福山市からは市の施策についてのお話がありました。福山市は二〇一二五年度重点政策について、グリーンな企業プラットフォームについて、外国人材活用への多様化共生の取組、環境対策支援の特助金について、工場などを立地するための民間開発事業についてなど幅広い報告が各担当者からありました。各施策はしっかりと考え方られており、私達経営者は、山市はいままでに向かっているか?どのようなことで力を入れているのか?しっかりと知ることが大事だと感じました。

次に同友会からは先日行われた政策アンケートのまとめを塩川政策委員長が報告され、福山支那の皆さんの声を届けました。この

実感しています。

すと7年目に入り、いっぽんは経済環境局経済部の皆さんと懇談会を行いますが今回初めて、企画政策課の皆さんも参加されました。日頃の事務局と福山市とのコミュニケーションも背景にあります。

2月19日同友会事務局にて、福山市と広島県中小企業家同友会福山支部幹部との懇談会が行われました。福山市からは7名、同友会からは11名計18名の参加でした。

第10回 福山支部理事会 報告

2025年2月26日（出席者 30/32）

【報告】経営課題と政策要望のアンケート結果報告 [塩出政策委員長]
 •福山支部では会員数658名に対し、回答者429名、65.2%の回答率となりました。初の400名、60%越えです。県全体でも会員数3,005名中2,072名が回答、69.0%の回答率となりました。支部によっては7割を超える回答率もありました。

《報告概要》

- アンケートでは県全体の経営状況のDI値が6となり、前回から2ポイント悪化。経営上の問題点は、人件費の増大、従業員の不足、仕入先からの値上げ要請が上位3つに。
- 金融情勢では資金繰りのDI値が12となり、前回から6ポイント悪化。原材料の高騰は6~10%増が30%と最多、変わらないと答えたのは14%に低下した。
- 従業員の賃金は「上げた・上げる」が68%、上げ幅が3~5%が55%とトップ。回答者の81%が今後も上げると回答。
- 価格転嫁の回答。物価上昇分の価格転嫁がまったく出来ていないと答えたのは29%、賃金上昇分の価格転嫁が出来ていないと答えたのは39%となつた。
- 福山支部の経営状況は、DI値が5.8と前回からダウンし、下げ幅は県より大きい傾向。経営上の問題点(3つまで回答可)は4割超が人件費の増大と回答。資金繰りのDI値は16.4とこちらも前回から悪化。
- アンケート結果は源田専務理事が日本銀行広島支店や公正取引委員会に報告に行き、e.doyuの掲示板で結果報告をしている。引き続き、報告を上げていくのでご覧いただきたい。今回は解説動画もあるので合わせてご視聴をお願いしたい。

■質疑応答

Q)石川E地区会長

- アンケートの結果はどのように活用されているか。また回答数をどれくらい追いかけていくのか、地区会から質問が出ている。
- A)塩出政策委員長
 - アンケートの結果がすぐに政策に反映されるというわけではなく、積み重ねた結果がそなうると思っている。アンケートの結果や外部への訪問結果は、e.doyuの掲示板にアップしている。見るかどうかは個人の判断になるが、情報を発信していることは知りたい。
 - 回答数については個人の事情もある中で地区でお願いしていただき、申し訳ない気持ちもある。ただ、アンケートは中小企業のリアルな声となるべく多く届けるという意義もある。設問内容は県委員会で、やみくもに多くならないよう検討、調整している。アンケートは定期的に回答することで会のためだけではなく、自社の定期診断のためになると考えている。福山支部の政策委員会でも同様のことをお伝えしているので、ぜひ地区からも委員会に参加いただきたい。

【討議事項】

- 「総会議案(中間総括)について」 問題提起:掛江総会議案委員長
- 本日の資料に中間総括の議案資料を添付しています。議案の内容は前回の討議事項、議案のアンケートをもとにまとめたものです。
- 議案書は会社の経営指針書です。全体ではなく、項目を絞って討議していくかもしれません。議案に組み込んでほしいこと、修正点、表現方法の変更などご意見をお願いします。
- ※「総会議案(中間総括)の追加・修正」をテーマにグループ討論を行いました。内容は省略します。

●まとめ

[掛江総会議案委員長]

- もっと多くの会員に議案書を読んでもらうためには、支部理事のリードが必要です。本日のご意見は地区会等でも共有をお願いします。
- 議案書には極力皆さんのご意見を掲載したいと考えています。QRコードなどはよく検討してから対応していきます。議案書は会社の経営指針書です。議案書を地区会等でも共有し、迷うことがあれば議案書を読むという流れを作成いただきたいです。
- 本日のご意見は議案書に反映し、また確認いただきます。貴重なご意見ありがとうございました。

■報告・連絡

●専門・委員会

①広報委員会

- BATPOST原稿の提出が遅れています。未提出のところは締め切りまでにご提出ください。

②経営労働委員会

- 事前資料に経営指針と障害者雇用の調査結果の中間報告を掲載しています。確認いただき、地区会でも再度、告知にご協力をお願いします。

③求人社員教育委員会

- 4月に新入社員研修を開催します。現在申し込みは13名です。参加条件の

問題は実行委員会で現在調整中です。各社で入社予定の社員さんがいらっしゃれば、ご参加をご検討ください。

④地域内連携推進委員会

- 7月の企画のお知らせです。イベント名は子どもが参加しやすいよう「ふくやま企業の夏まつり」に、日程は7/12(土)の1日開催になりました。福山支部40周年同様、福山市教育委員会の後援をお願いしたいと考えています。
- 明日からe.doyuで出展企業40社を募集します。出展料は企業が1ブース5,000円、飲食が2,000円です。定員に達し次第、締め切りますので、地区でも周知をお願いします。
- チラシと合わせてスタンプラリーを小学校に配布予定です。スタンプラリーはイベントまでに会員企業を訪問し、達成者には当日の特典を付ける企画を行います。こちらの協力企業もe.doyuで募集します。
- 地区会の出展は任意で出展料も無料です。地区でご検討ください。

■県関係の報告

①県理事会の報告

- 来期の予算決算の検討を行いました。今期は黒字の見込みですが、県委員会等の予算請求を合計すると来期は2千万円の不足という状態です。予算不足の原因の一つが予想よりも入会が増えなかったことです。財政のために増強をするわけではないのですが、安定した学びのためにもそこにも目を向ける必要があるのでは、と思いました。引き続き、財政部を中心に検討していきます。
- 今月の県理事会は久しぶりに福山で開催しました。福山在住の経営者としてはもっと福山で開催してほしいと思いましたが、理事の交通費を考慮すると致し方ないのかな、と思いました。

(塩出政策委員長)

- 宮崎県委員長に代わり、県政策委員会の「経営課題と政策要望のアンケート」ご協力のお礼を申し上げます。

■その他の報告

①ビジョン委員会の報告

- 内容がほぼ完成しています。あとは細かい修正等を行うのみです。福山支部のビジョンは県の中期ビジョンに沿って作成しています。本日のビジョンの内容で修正要望があれば、ビジョン委員会か事務局にお知らせください。

②支部活動費の執行状況

- 1月末で65.6%の執行状況です。詳細は資料をご覧ください。
- 総務委員会では決算見込みまで確認し、予算712万円の収入予算に対し、およそ707万円の決算収入を予想しています。正式な収支報告書は3月末の決算をもって決定します。

【承認事項】

①入退会の承認

■入会希望者(3名)

井上創建 代表 井上俊太(B)

事業概要 エクステリア

相席BAR encount 代表 高智浩貴(E)

事業概要 お酒の提供・ダーツ・カラオケ・40~50人ぐらい収容可能

竹中工業(株) 取締役 竹中 誠(S)

事業概要 油圧式テーブルリフト・搬送機器・産業用機器等の製造、点検、修理、その他製缶加工。

■退会希望者(1名)

(有)皿谷モータース 代表取締役 皿谷 利満(J)

以上、承認されました。

これにより福山支部の会員数は660名となりました。

【閉会あいさつ】

[藤友友副支部長]

- 本日はご討議ありがとうございました。アンケートの回答結果が最高数値となったのは、地区会長をはじめとして動いて下さった皆さんの賜物です。私の地区でも地区会長と協力し、地区のメンバーに協力してもらいました。こういった積み重ねが地区例会や支部例会、県や全国行事の参加にも波及していくのだと思います。

- 議案書はいろんなことを前向きにとらえて頂きたいと考えています。残念ながら退会してしまった方にとって、同友会はどんな場所だったのだろうと思うことがあります。私たちが伝える役割もありますが、一方で受け身ではなく情報を取りに行ってほしいとも思います。支部理事会は、伝える側と情報を取りに行く関係作りの場です。議案書も意見を次につなげていきます。本日もありがとうございました。